

This is a newsletter from Shinshu University International Center (SUIC)
In case this email newsletter is unreadable, please try the online version
http://suic.shinshu-u.ac.jp/obog/newsletter/kokusaikouryu_vol5.pdf

Vol.5 — 2006.7.3 —

■□ 信州大学国際交流センター ニュースレター □■

Shinshu University International Center (SUIC) Newsletter

- 発行：信州大学国際交流センター (SUIC)
<http://suic.shinshu-u.ac.jp>
(* サイトリニューアルにつきURLが変更になりました)

- ▼△ 今号のもくじ △▼
- ・ ごあいさつ
 - ・ 最近の出来事
 - ・ 信大NOW39号
 - ・ スタッフ近況報告 (佐藤友則先生)
 - ・ 信州生活ちょっとコラム (生活編)
-

…☆…☆…☆…☆… 修了者データベース登録のお願い …☆…☆…☆…☆…

国際交流センターでは、留学生の帰国後のフォローアップの一環として、データベースの作成と活用をすすめています。
まだこのフォームを提出されたことのない方は、ぜひ記入にご協力ください。
また、このニュースレターの配信先メールアドレス変更もこちらからできます。

http://jimuwwww.shinshu-u.ac.jp/isc/regi_form.html

…☆…

■□
□ ごあいさつ

7月になりました。7月初旬とといえば、梅雨の真っ最中…のはずなんですが、松本はなんだかかなり爽やかな陽気だと思うのは私だけ？東京や九州に住んでいた頃は、梅雨といえば不快指数はとても高く「ああ早く梅雨が明けないかなあ」と待ち望んだものですが。九州出身の私にとっては信州の梅雨はかわいらしいもので不快なんてめっそうもない。夏も暑いとは言っても不快さはないし、さすが避暑地と呼ばれる訳ですね。(これで冬の寒ささえなければ！)

この時期は、いろんな木々が実をつける時期でもあります。我が家の庭にも、梅はもちろん、木苺、スグリ、ニワウメなどが実をつけ、大人は梅を漬けるのに、子供たちは庭中を巡り、食べられる実をむしっては食べるのに忙しい毎日です。

食べ物の話ばかりですみませんが、信州って梅の漬け方がすごく多彩ですよ。梅を漬けるといえば、しわしわふにやふにやの梅干しか知らなかったけれど信州に来て初めて、パリパリの梅、甘じょっぱい梅、青梅の蜜漬け等、梅の漬け方にこんなにもバリエーションがあることを知りました。さすがは漬物王国、信州！

■□
□ 最近の出来事

▼新国際交流センター長に野村彰夫理事が就任

▽新任の国際交流センター長のあいさつ

国際交流センター長 野村 彰夫

この6月に前任の唐沢センター長から引き継ぎました野村です。4月から留学生関係と国際交流の業務を一元的に取り組む新たな体制でスタートしました。これからは「日本の信大」から「世界の信大」へと飛躍するため

にがんばります。

私は、これまで大気観測でいろいろなところに出かけてきました。南極に1年、南極点に1週間、北極圏ではノルウエーやアラスカへ。なぜか寒いところばかりです。ペンギンやアザラシ、白熊などとの「国際交流？」の経験はありますが、今度は「人間」を中心に交流しなければならないので緊張していますが、同じ「生きもの」だから大丈夫でしょう！「ヒゲの野村」ですので、一度会ったら忘れられない顔をしています。よろしく～～～！！

（野村新センター長の写真はこちら）

<http://suic.shinshu-u.ac.jp/aboutus/staff/kyoin.html>

▼ 国際交流センターのWebをリニューアルしました

国際交流センターの設立から3ヶ月が経ちましたが、ようやくWebサイト（日本語）をリニューアルすることができました。今後、追って英語ほか多言語化を図っていきます。皆様のご意見、ご希望を取り入れながら、さらに内容を充実させていきたいと思っていますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

O B / O G の皆様のためのページも設置しました。皆様から発信したい情報がありましたら、ぜひメールで下記アドレスまでご連絡ください。
(iad@shinshu-u.ac.jp)

▽何はともあれ、今すぐチェック！

<http://suic.shinshu-u.ac.jp/>

▼ 高沢産業奨学金

平成18年2月に、高沢産業株式会社から本学の総合工学系研究科で学ぶ私費外国人留学生を対象とした奨学金支援を開始したいとのご提案を拝受しました。

早速公募の結果5名の応募者があり、面接選考等の結果、2名が2年間の奨学生に採択され、平成18年6月26日（月）に長野市南千歳の高沢産業株式会社本社において、会社役員等関係者約30名の参加のもとに第1回奨学金授与式が執り行われました。

高沢通泰代表取締役社長から、留学生へのお祝いと激励及び留学生支援を通じての本学との相互交流推進の挨拶があり、本学からは、山沢総合工学系研究科長から、採択となった留学生の研究内容等の紹介とお礼の言葉が述べられ、最後に留学生から、奨学金を活用し、立派に研究を完遂する決意表明とお礼の挨拶が行われました。

（写真）http://suic.shinshu-u.ac.jp/current/news/c_news.html#1

▼ オクラホマ州立大学への交換留学生 再募集

信州大学と交流協定を結んでいる米国オクラホマ州立大学(OSU)へ、2007年1月から5月まで派遣する学生をあらたに募集することになりました。これは、今年4月に2007年8月から1年間の派遣生を募集したところ、残念ながら語学力不足などの理由で該当者がいなかったための追加募集です。

今回こそは、夏休みもはさむことでし、十分な準備をもって多くの学生が応募してきてくれることを心待ちにするスタッフ一同です。

国際交流センター(SUIC)では、海外留学を希望する学生を対象に留学説明会を開くなど、OSUへの派遣はもとより、信大生の海外派遣全般にもさらに力を注いでいく予定です。

▼ 一斉環境美化デー

5月30日は「ゴミゼロの日」ということで、旭キャンパスでは一斉環境美化デーが実施されました。当日は学長をはじめとする教職員、多くの学生が一緒になってキャンパス中を巡り、ゴミ拾いや草刈りを行いました。

写真にこそ写ってはいませんが、回収されたゴミ（粗大ゴミ含む）の量たるやリヤカーに山積み。これだけやれば、Before & After も一目瞭然です。このままきれいなキャンパスが保たれますように。

(写真) <http://jimuwwww.shinshu-u.ac.jp/photo/2006/06p0530bika/>



□ 信大NOW39号のご案内

「信大NOW」は、信州大学のニュース、歴史や人にまつわる記事、イベントや公開講座の紹介や研究者の研究内容など「信州大学が良くわかる」広報誌です。

信州大学の公式Webサイト上でもお読みいただけますので、ぜひどうぞ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/html/now/>

★ 「信大NOW39号」ダイジェスト

■特集1：チェルノブイリ医療協力活動15年 -----

チェルノブイリ原発事故から20年。信州大学医学部・医学部付属病院が日本チェルノブイリ連帯基金(JCF)と共に続けてきた活動のレポートです。

(全文) <http://www.shinshu-u.ac.jp/html/now/now39/39-2-8p.pdf>

■SCIENCE NOW：研究室紹介

「医学部 医学科 内科学 池田 修一 教授」
風邪っぴきから移植医療まで第三内科がインテグレートする総合診療

▽移植治療で難病に挑む
▽神経内科は統合的医療をめざす

(全文) <http://www.shinshu-u.ac.jp/html/now/now39/39-9p.pdf>

■Special Report1：今年の新入生 -----

平成18年度の新入生18名に、信大を選んだ理由、大学生活への抱負、将来の夢などをインタビュー。学生たちの本音をまとめて聞ける機会はなかなかないので新鮮で面白いです。

(全文) <http://www.shinshu-u.ac.jp/html/now/now39/39-10-11p.pdf>

■Special Report2：学生表彰から -----

▽「リ्यूージュのない人生は考えられません」・・・学長賞受賞 原田窓香さん

世界第一線のリ्यूージュ選手として国内外で活躍している教育学部原田窓香さんへのインタビュー。トリノオリンピックで女子一人乗り13位という素晴らしい成績を収められたことは、ニュースレターVol.3でもご紹介したとおりですが、そんな彼女がリ्यूージュを始めることになったきっかけやオリンピックの感想などを語っています。

(全文) <http://www.shinshu-u.ac.jp/html/now/now39/39-12-13p.pdf>

■Information（行事、公開講座などの案内・報告） Communication（おたより）

(全文) <http://www.shinshu-u.ac.jp/html/now/now39/39-14-15p.pdf>

■（新）健康談話：「带状疱疹って、何でしょう？」 -----

(参照) <http://www.shinshu-u.ac.jp/html/now/now38/39-16.pdf>



スタッフ近況報告 ～ 佐藤友則先生



信州大学の留学OB、OGの皆さんへ 佐藤友則です。

お久しぶりです。といっても、「佐藤友則なんて知らない」という人もたくさんいるでしょう。松本以外のキャンパスの学生さんとはそんなに顔を合わせたわけじゃないですし、信州大に来たのも7年前（1999年）ですから、それより前に卒業した皆さんとは付き合いもありません。

そこで自己紹介をしましょう。

私は1988年に新潟大学を卒業しました。専門は社会学だったんですが、皆さんのような(?)優秀な学生じゃなく、テニスしかしていた覚えはありません。ただ、硬式庭球部のマネージャーとして必死に働いていたことが今の仕事にも生きています。卒業後は、民間の企業でサラリーマンを2年ほどしていました。一部上場の商社で、朝から晩まで馬車ウマのように働いていました。今の皆さん達の中に、その頃の私と同じような境遇の人もいるでしょうね。

その後、脱サラをし、日本語教師を目指して勉強し、東京の大手の日本語学校で晴れて日本語教師になりました。楽しかったですね。希望に燃えて日本にやってきたばかりの日本語ができない学生達に囲まれて。下手クソだったけど一生懸命、日本語を教えていました。昔の皆さん達の多くが、そういう日本語学校を卒業してきたと思います。

ただ、日本語学校の先生では一生やっていくことはできない。そこで、東北大学の大学院に入りなおしました。私の故郷が仙台なので、東北大は子供の頃からの遊び場だったのです。東北大で修士をとり、博士課程の途中で休学して韓国で働きました。全州という地方の町にある国立大学で3年間、日本語を教えていました。私の唯一の外国生活です。だから今でも韓国のことはある程度理解している（つもりだ）し、韓国語も少しは話せる（つもりな）のです。

その後、日本に戻り、東北大の留学生センターの非常勤講師になってから、1999年に信州大学留学生センターに入ってきたというわけです。博士論文はまだ、音声学の分野で書きたいと思っています。今年から信州大学の留学生センターは国際交流センターになったので、その一人だけの教員、助教授をやっています。

ここまで長い文章を読んできた皆さん、ありがとう。分かってもらえたと思いますが、私は他の大学教員とはちょっと、いや相当にちがう道筋をたどってきています。変り種といっているいいでしょう。そんなわけで学生からはありがたいことに相談をよく受けますし、常に学生の立場に立って仕事を進める傾向があります。

今、日本の大学もだいたい変わってきていて、私が学生だった頃には考えられなかったくらい、学生のことを考えるようになってきています。まだまだですが、少しずつさらに大学をよくしていったって、皆さんの知り合い、親戚、果てはお子さんが日本に留学する頃に「信州大に行ったら？」とアドバイスしてもらえそうな大学にしていきたいと思っています。

よろしく！

★

【5】信州生活ちょっとコラム（生活編）

★

▽ 虫との共生・・・？

信州の珍味といえば、蜂の子、いなご、それから伊那の方では「ざざ虫」という虫も食用にするらしいですね。（見たことないけど）そういえば東京にいた頃、「ざざ」というあだ名の先輩がいたっけ。

山深い信州の貴重なタンパク源として、昔はフツーに食べてたようですが今でもけっこう蜂の巣退治のついで、とか言って巣の中の蜂の子を採って食べたりします。特に虫が嫌いという訳ではないけれど、見ていてあまり気持ちいいものではないというのが正直なところ。

つい先日も、うちの庭にできていた蜂の巣を、危ないからと取ったうちのおじいちゃん。食べようと思ったらしく、そのまま何日も蜂の巣を食卓に放置してあり、やだなあ気持ち悪いなあとおもっていたら、なんと昨晚ついに蜂の子がハチになって出てきた・・・^^； もういや。

もういやといえば、国際交流課の窓には網戸がありません。クーラーはエコキャンパスを目指すという方針もあって、ほとんど使わない。したがって、窓はいつも全開。そりゃもう、いろんなのが入ってきます。ハチからハエから、その他名前もわからないいろんな虫くんたちが。夜ともなれば、明かりを求めて大賑わい。Fさん曰く、書類の間に虫の標本ができてくることもしばしばとか。自然豊かな信州で、自然と共生する大学を

目指すとはいうものの、網戸くらいはあったほうがいいかも（笑）

□配信元：信州大学国際交流センター(SUIC) 文責：飯沼
〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1
Tel: 0263-37-2865 / Fax: 0263-37-2181
<http://suic.shinshu-u.ac.jp>

□連絡先：iad@shinshu-u.ac.jp

- ・ 各種お問い合わせ
 - ・ 配信停止希望
 - ・ メールアドレスの変更のご連絡
 - ・ 情報掲載のご希望
 - ・ ご意見、ご感想 …など
-